

や
まさき

広げよう、ふれあい喫茶・サロン

ふれあい活動連絡会開催

3月12日(金) 穴栗防災センターにおいて、ふれあい喫茶・サロンなどの担当者が集う「ふれあい活動連絡会」を開催し、今年度新たにふれあい喫茶を始めた担当者や開催を検討している自治会も含め44自治会78名が参加しました。

この「連絡会」では、10年以上の歴史がある「鶴木つるの会」の実践や今年度オープンした高下自治会ふれあい喫茶「ホタル」の担当者から発表の後、グループに分かれて交流しました。

参加者からは、「同じ悩みを聞いて気が楽になった」「いろいろな活動を聞いて参考になった」などの感想が寄せられました。

山崎支部では、市民のみなさんから預託いただいた善意銀行の支部配分金をふれあい活動に活かすために、ビンゴゲーム機や室内ゲームなどの備品購入に充て、今回の「連絡会」で紹介しました。

(山崎支部 阿曾秀樹)



各グループでは、熱心な話し合いが行われました



「ふれあい喫茶を立ち上げてよかった」と高下自治会担当者、壁にはそれぞれのチラシ、写真を展示しました

い
ちのみや

穴栗の山歩きに85名

市老連が
太子町老連と
健康ウォーキング



穴栗市老人クラブ連合会(市老連)では、3月20日(土)、「しろう杉のふるさと」と称される一宮町東河内の山林を会場に太子町の老人クラブとの交流を目的にした「穴栗の山を歩く健康ウォーキング大会」を行いました。

この催しは、穴栗市の健康増進・社



眺晴山をバックに参加者で記念撮影(一宮町東河内岡の上林道)

会貢献補助事業の一環として企画されたもので、東河内生産森林組合と東河内株山共有林の美しく間伐された森林内作業道の上り3キロと穴栗50名山の一つである眺晴山の山麓から岡の上林道の下り約5キロの計8キロのウォーキングで、85名が参加しました。

当日は、黄砂の影響で遠くの山が少し霞んで見えたが、それでも晴天の下、健康的な汗をかきながらの山歩きとなりました。大会では途中、東河内株山共有林の管理者の長野隆一さんから株山共有林の歴史や低コストで収入間伐を行い、持続可能な林業経営を行っている取り組みについて現地説明を受けました。

参加者からは、「美しく間伐された森林はすばらしく、景色がとてもきれいで気持ちのいい山歩きになりました。」と喜びの声が聞けました。

(一宮支部 山本正幸)

読者の
感想より

1. 17のつといに参加させて頂きました。足元から底冷えの朝でしたが、スタッフの方々の御苦勞を思うと、心がほっこり、お汁でもほっこり、ありがとうございました。(山崎町 女性)